

ひと
人材は北から世界へ

北大 新渡戸カレッジのグローバルリーダー教育

Nitobe College



「光」は「北」から、 「北」から「世界」へ

北海道大学総長
新渡戸カレッジ校長
寶金 清博

「新渡戸カレッジ」は、国際的な感性を持った豊かな人間性をはぐくむための専門横断的な特別教育プログラムです。北海道大学の教育プログラムの中でも、異彩を放つものであり、これまで高い評価を得てきました。

2013年に学部生を対象とした「新渡戸カレッジ」を、2015年に大学院生を対象とした「新渡戸スクール」を開校し、さらに2019年よりは両者を統合し、新生「新渡戸カレッジ」として、6年一貫のプログラムを実施しているところです。

「新渡戸カレッジ」では、札幌農学校の第二期生である新渡戸稲造から学ぶべき精神に基づきながら、各々の学問分野における高い専門性を修得するとともに、分野横断的な教育プログラムを通して、グローバルなコミュニケーションツールとしての外国語能力、リーダーシップ・チームワーク力、多文化状況の中での問題解決力を身につけるとともに、異なる文化・社会の架け橋となる国際的な人間の育成をめざしています。

2020年当初から、私達の日常が大きく揺らいでいます。コロナ禍の中で、国際化、国境を越えた人と人の繋がりは、厳しい試練の時期を迎えており、出口はまだ見えません。

しかし、私達は、この試練を乗り越え、さらに力強い人と人との絆を取り戻すと確信しています。暗闇の中だからこそ、「光」がはっきりと見えるものです。このコロナ禍の中でも、人と人は国境を越えて繋がりを求めるものであり、オンラインなどの新しい日常「ニューノーマル」を築いて、「光」の繋がりを一層強めています。

本学の総長メッセージで、私は、「光」は「北」から、「北」から「世界」へという表現を使っています。「新渡戸カレッジ」は、その「光」を放つ重要な教育プログラムであると確信します。

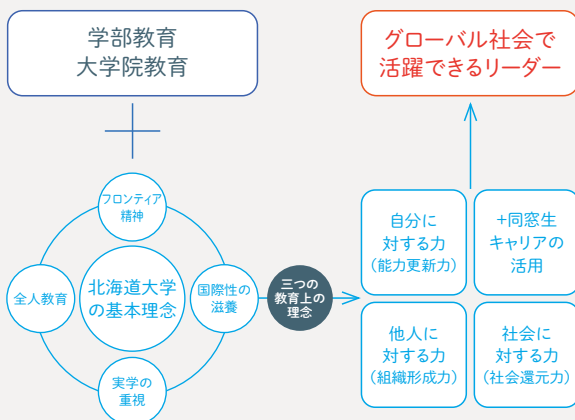
●新渡戸カレッジのミッション・人材像について●

新渡戸カレッジのミッション

新渡戸カレッジにおいては、本学の四つの基本理念である「フロンティア精神」、「国際性の涵養」、「全人教育」、「実学の重視」および新渡戸稲造から学ぶべき三つの精神である①深い倫理性に基づいた品位ある「自律的な個人の育成」、②それぞれの文化的・社会的背景に根ざしたアイデンティティを確立し、互いに尊重し合う「国際精神の涵養」を基本とし、さらには③相互に親しく交わる「国際的教育の実現」に基づきつつ、各々の学問分野における高い専門性を修得するとともに、分野横断的な教育プログラムの履修を通して、以下の能力を身につけ、それらを発揮できる人間を育成します。

- 学部教育コース
 - ・自分に対する力・他人に対する力・社会に対する力
- 大学院教育コース
 - ・能力更新力・組織形成力・社会還元力

育成する人材像

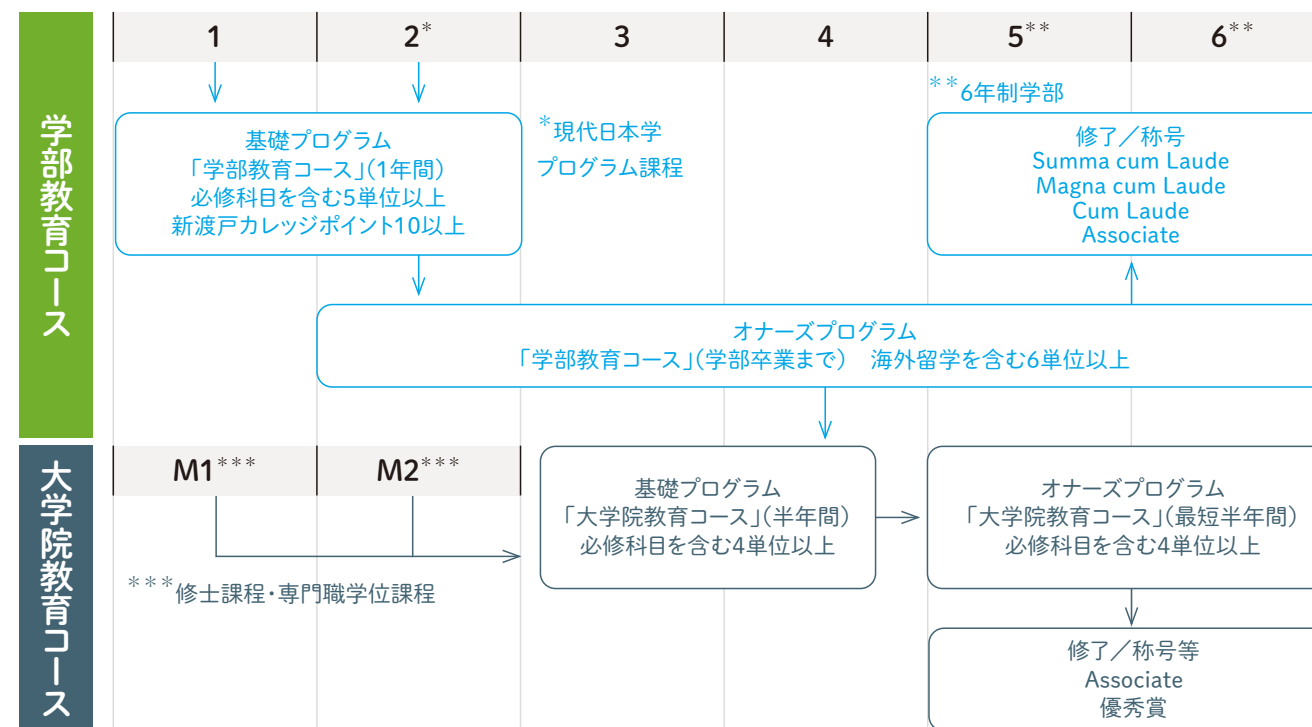


新渡戸カレッジの教育について

●入校から修了まで—学部から大学院までの6年一貫教育—●

各学部・大学院での教育にプラスして、グローバル社会で活躍するために、必要なスキルとマインドを身につけるプログラムです。

新渡戸カレッジ入校から修了までの流れ



●主要カリキュラムについて●

学部教育コースで学ぶ科目の概要

基礎プログラム 必修科目

- 留学支援英語(2)
- グローバル基礎科目「国際理解と海外留学」(1)
- グローバル基礎科目「リーダーシップとチームワーク」(1)
- フェローゼミ(1)

オナーズプログラム 必修科目

- 海外留学(1 or 2)
- 「交換留学」
- 「短期留学スペシャルプログラム」
- 「国際インターンシップ」
- 「学部専門レベル短期留学」

多様な科目群から選択して自律的に学習

新渡戸学

- セルフキャリア発展ゼミ(1)
- アドバンスゼミ(1)

国際交流科目

- 国際交流科目(1 or 2)
- 日本文化・社会に関する理解増進科目(1 or 2)

全学教育科目

- フィールド型演習(2)
- 多文化交流科目(2)
- 大学と社会(1)
- インターンシップ(国内)(1 or 2) ほか

専門科目

- 実践英語(上級)(2)
- 専門横断科目(1 or 2)
- 英語による学部専門科目(1 or 2)

他に新渡戸カレッジポイントの対象となる講演会等の各種イベントを通しての学びがあります。

大学院教育コースで学ぶ科目の概要

大学院基礎科目 I・II

チーム学習の基礎・チーム学習の実践

大学院発展科目 I・II

課題解決・問題発見

大学院基礎演習

セルフキャリア発展ゼミ(大学院)

大学院特別演習

Hult Prize チャレンジ・企業課題解決演習DEMOLA

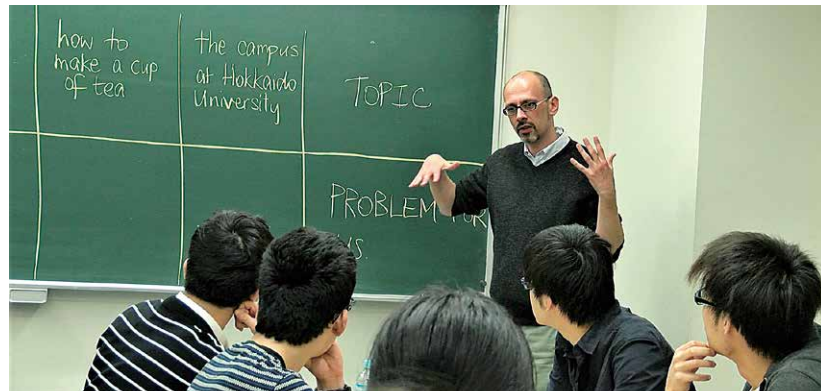
主要カリキュラムの紹介

英語を母語とする講師による授業、国内外での人との交流、現場での体験を通して、人間性と国際性を養い、国際的なイノベーションの推進に貢献します。

「英語力の養成」

1. 留学支援英語

1クラス20人以下の少人数クラスとして、英語によるコミュニケーション能力の向上と留学時に必要なアカデミックスキルの習得を目指して、教員による会話とライティング・プレゼンテーションを中心とした実践的な英語の授業を行います。



「リーダーシップ・チームワーク力の育成」

2. グローバル基礎科目 (国際理解と海外留学/ リーダーシップとチームワーク)

海外経験の豊富な講師から、国際社会における課題や各研究分野の状況、留学の実態などを学びます。更に「リーダーシップ」について、グループワークを通じて各自の考えを深め、チームで課題に取り組みながら、ディスカッションや発表のための実践的なスキルを磨き、リーダーシップを発揮できるようになることを目指します。



3. フィールド型演習

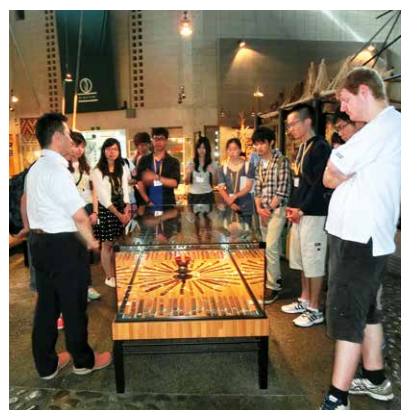
さまざまな主題を持つ少人数クラス(20名程度)の体験型演習です。この授業科目では、チームワークの重要性を認識し、リーダーシップやリスクマネジメントのなんたるかを体験する良い機会が得られます。



「多文化状況中での 問題解決力の育成」

4. 多文化交流科目

異文化・多文化状況に関する知識・理解を促進し、外国人留学生と日本人学生との協働学習により、多様な背景の人々とともに課題を解決する教育を目的としています。



「海外での高い倫理観と 豊かな人間性及び論理的な思考力と 高い専門能力の育成」

5. 海外留学

北海道大学の4つの基本理念と新渡戸稲造の精神に基づき、海外において高い倫理観と豊かな人間性をもった自律的な個人の確立と、論理的な思考力と高い専門能力を身につけることを目的とします。



フェローによる実践演習及び国際インターンシップ

先輩である国際経験、社会経験豊富なフェローとともに、国際社会で生きる人間としての自覚の育成とキャリア形成を行います。

1. 新渡戸学(フェローゼミ)

少人数演習形式で基礎プログラム生の必修科目に位置づけられており、北大の同窓生からなる8名のフェローが各自のテーマに基づいた演習を企画、実施します。学生はゼミの中で5名程度のチームに分かれ、現地視察での学びや調査した事柄をもとに、課題を設定し、解決策を議論します。



2. 新渡戸学(セルフキャリア発展ゼミ)

本ゼミは1泊2日の合宿を中心に、アクティブ・ラーニングを通してフェロー、教員と新渡戸カレッジ生同士の深い交流を行い、日常とは異なる空間で自らのキャリアを考えます。



3. 新渡戸学(アドバンストゼミ)

学生が持続可能な社会を構築するため、世界的な課題の中からテーマを選び、課題提起に対して自らリサーチし、具体的な解決策を考えます。ゼミの中で、個々のプレゼンテーション、グループミーティングおよび全体ディスカッションを通して、広く社会へ発信します。



4. 対話プログラム

本プログラムは、対話を通してフェローの国際感覚や経験に触れ、考える力・行動力・チームワーク力・人間性などを高めることを



目的として年4回程度実施します。対話は、学生がトピックを設定してフェローに話し、助言を受けてさらに考え、行動するという形で進めます。

5. 国際インターンシップ

短期間で海外就業を体験し、問題解決能力や自己管理能力を育む機会になっています。学生の総合的な人間力を培う実践的キャリア教育として、自らの専門分野や進路に関連した企業、或いは全く異なる業界での研修を通して、国際性とリーダーシップ力を醸成するとともに、グローバルな視点で自らのキャリアや今後の進路について考えます。



2021年度フェロー紹介

石川 裕一
(株)ぶらう代表取締役社長
石川 めぐみ
CJコミュニケーション代表
伊藤 慎
大塚製薬(株)医薬品事業部
マーケティング担当
アソシエイトディレクター
井上 修平
元双日執行役員・顧問
元シンフォニア・テクノロジー取締役
上田 英樹
NTTコムソリューションズ(株)
取締役経営企画部長
大塚 榮子
北海道大学名誉教授

大友 俊彦
中外製薬(株)オンコロジーライフサイクル
マネジメント部長
帰山 雅秀
北海道大学名誉教授
萱野 聡
(株)サクセスボード代表取締役社長
工藤 文肅
双日(株)北海道支店支店長
佐々木 亮子
元北海道副知事
志済 聡子
中外製薬(株)執行役員
デジタル・IT統轄部門長
柴田 哲史
北海道道路管理技術センター

渋谷 隆雄
元三井金属鉱業(株)執行役員
島田 元生
(株)ビスキャスト非常勤顧問
高野 文彰
高野ランドスケーププランニング株式会社
取締役会長
多田 幸雄
(株)双日総合研究所相談役
玉城 英彦
北海道大学名誉教授
戸田 守道
戸田建設(株)取締役専務執行役員
萩野 泉
(株)電通クロスブレイン
リードマーケティングデータアナリスト

日野 峰子
会議通訳者
廣重 勝彦
一般社団法人日本社債調査センター
代表理事
藤田 信良
公益財団法人山岡育英会常務理事
松尾 望
一般財団法人知的財産研究教育財団
知的財産研究所上席研究員
三村 直己
ウインボンド・エレクトロニクス(株)
ゼネラルマネージャー
村山 和佳
(株)ズコーシャ技術部設計二課課長
森 順子
(株)ハッピーアロー代表取締役

主要カリキュラムの紹介

「専門性をいかせ、可能性をひらけ!」。各分野の専門性に立脚し、その専門性を活用する能力を高めることにより、国際社会における創造的な課題解決及び社会的価値の創出を実現できる専門家の育成をめざします。

大学院基礎科目 I

〈チーム学習の基礎〉

チームワークに貢献するための個々のスキルを伸ばすとともに、創造的・批判的思考、リーダーシップ、ファシリテーション、プレゼンテーション等、チームワークに必要な知識と技法について学びます。



大学院基礎科目 II

〈チーム学習の実践〉

大学院基礎科目Iで学習した知識やスキルを応用し、多様な文化や専門性を背景に持つ学生と協働し具体的なプロジェクトに取り組むことにより、プロジェクトマネジメントの基礎的知識とスキルを習得します。

大学院発展科目 I

〈課題解決〉

今日のかつ世界的な課題に取り組むプロジェクトをチームで実施することにより、基礎プログラムで身につけた知識とスキルを更に伸ばし、課題解決力を身につけます。



大学院発展科目 II

〈問題発見〉

地域の課題について、フィールド調査の計画と実施、データ収集と分析・評価を通じて、問題発見の重要性を熟知し、独創的な問いを発見する能力を磨きます。



メンターによる実践演習の紹介

大学院特別演習

国際的な政策コンテスト等に参画した学生に新渡戸カレッジ独自科目として「大学院特別演習」の単位を付与し、前ページの主要科目で習得した知識やスキルの実践と更なる進展をめざします。

- ・「Hult Prizeチャレンジ」(Hult Prize)
- ・「企業課題解決演習」(DEMOLA)



メンター制度

それぞれの組織で中核人材として活躍するメンターが、自身の経験をもとに、学生一人一人の学修計画とキャリアプランをサポートします。毎年、メンターを招いた交流の場(メンターフォーラム)を開催し、学生のキャリア意識の涵養、社会的視野の拡大、人的ネットワークの形成を支援します。

メンターフォーラムとは

メンターフォーラムは、新渡戸カレッジ生が大学院修了後のキャリアパスをより具体的に考える機会として、年2回開催されています。フォーラム前半は、メンターが一堂に会し、各々の実務経験をもとにキャリアを考えるための講演をします。後半は、各メンターが複数の教室に分かれて質問を受ける交流会で、学生は自分が関心のあるメンターにキャリアデザインに関する相談をすることができます。

過去のメンターフォーラムの様子

2019年度のメンターフォーラムは、2019年8月3日(土)および2020年2月1日(土)に開催されました。いずれのフォーラムもメンターに加えてゲストスピーカーに参加いただきました。第1部は、『キャリアパスとキャリアチェンジを考える』をテーマとして、メンターとゲストスピーカーがそれぞれの社会人経験に基づいて講演しました。多様な分野でグローバルに活躍する講演者の話に学生らは熱心に耳を傾け、多くの刺激を受けていました。第2部は、学生が関心のある講演者に大学での研究活動や就職活動等について自由に質問し、アドバイスをいただきました。メンターフォーラムを通して、研究への取り組み方、将来のキャリアデザインに関して貴重な示唆を得ることができました。



2021年度 メンター紹介

石川 憲一
スリーエムジャパン(株)
常務執行役員
Eric Ofosu-Twum
日立製作所
黒田 垂歩
レオファーマ(株)
越 直美
三浦法律事務所 元大津市市長

佐伯 百合子
(株)資生堂
附柴 裕之
(株)Savon de Siesta 代表取締役会長
中島 徹
15th Rock Ventures ジェネラルパートナー
Spirete, Inc. 代表取締役
中原 拓
遠友ファーマ(株)取締役

長堀 紀子
北海道大学人育成本部
遠友ファーマ(株)代表取締役CEO
萩野 泉
(株)電通クロスブレイン
藤井 幸大
サンマルコ食品会社(株)常務取締役
前田 美虹
(株)ニトリ

三嶋 渉
気象庁
山下 直樹
財務省
Abhijeet Ravankar
北見工業大学
和田 義明
衆議院議員

修了生からのメッセージ

●学部教育コース修了生●

ライフワーク バランスで生きる

木村 まい
2013年新渡戸カレッジ第1期生



新渡戸カレッジ1期生の木村まいと申します。地方公共団体に勤務しています。

最近、私の職場では時差出勤やフレックスタイム制等の多様な働き方に取組んでいます。大学1年生の時に短期留学で訪れたフィンランドでは、夕方に閉店してしまうお店の不便さが気になり、当時聞き慣れていなかった「ライフワークバランス」という考え方に実感がわきませんでした。しかし、自分が働く身となった今、働く人それぞれに合った持続可能な働き方を社会全体で模索していく必要性を強く感じています。

留学先での経験は、目の前の「当たり前」に対し、それが本当に最適なのかを問い続ける重要性を教えてくださいました。学生時代にしっかりと悩みぬいた経験は、今も私を支えています。

今年は東京2020大会が開催され、激動の1年が始まります。なすべきことをしっかりと見据えて、着実に進んでいきたいと思ひます。末筆ながら、皆様の今後ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

●大学院教育コース修了生●

See from a bird's eye view

—私は誰で、今どこにいるのかを考える

佐伯 百合子
株式会社資生堂 研究員
2015年新渡戸スクール第1期生



私は現在、研究員として仕事をしています。社内公用語は英語

ですので、仕事を進める上で英語のコミュニケーションは必須です。新渡戸スクールにおいて、英語で経験したアクティブラーニングや、完全なアウトプット型の学習はとて価値があり、社会でも活かしているとともに、大きなアドバンテージになっていると実感しています。

加えて新渡戸スクールでの学びで役に立っていると思うのは、社会還元力の中の「社会的役割認識」です。自分が今立っている場所や、取り組んでいる研究が、社会全体の中でどのような位置にあるのかを客観的に見て、正確に把握できているかどうかは、その人の主張の論理性や納得性を左右すると感じます。新渡戸スクールの中で、これらについて考えるトレーニングができたことは、現在も研究の立案や上司への提案時に変役立っており、自分のやりたいことを実現する大きな助けになっていると感じています。

新渡戸スクールを修了して数年経った今でも、スクールで出会った仲間とは集まる機会があります。彼らの頑張りには私にとって良い刺激になっており、自分ももっと頑張ろうというモチベーションを高めてくれます。

動物ウェルフェアを 探求する

但 申
Wageningen大学Animal Sciences
修士課程(オランダ)修了
2013年新渡戸カレッジ第1期生



こんにちは。新渡戸カレッジ1期生OBの但申と申します。

オランダのWageningen大学のAnimal Sciences修士課程を修了しました。専攻は家畜の行動学とアニマル・ウェルフェアでした。アニマル・ウェルフェア(動物福祉)とは、行動学や生理学などの知見をもとに飼育動物のストレスを軽減させ、快適な飼育環境を考案する研究分野です。修士1年目では専門分野の幅広い授業を履修し、2年目では異なる修士論文研究を2つ行いました。1つ目は乳牛の情緒を示す指標の一つとして、牛の耳の動作を調査しました。もう1つは日本とオランダの大学生の家畜のウェルフェアに対する意識を比較研究しました。大学院在学中は学問や研究、農場見学や様々な文化圏の学生との交流など、充実した学生生活を送ってきました。今後も欧州の大学の博士課程でアニマル・ウェルフェアに関する研究を続けたいと思ひます。

Utilize your expertise, unleash your potential

—専門性を生かし、可能性を切り開け

前田 美紅
2017年新渡戸スクール第3期生



とても刺激的だった新渡戸スクールでの議論があります。議題

は「What is Globalism?」。チーム5人で議論をしました。「共通言語の発生」「多国籍企業の増加」「自由貿易の拡大」「ゲノム編集」。人間の思考とは本当に興味深いもので、誰一人として同じ考え方をしなかったのです。

私が新渡戸スクールで学んだ理由はここにあります。英語を共通言語に、各研究科から国籍も文化も価値観も違う学生が集まり、問題解決にあたる。当時の私は、通訳翻訳を専門分野として研究していました。人間の強い感情を受け止め、理解し、当事者目線で代弁するのが通訳翻訳技術です。新渡戸スクールでは、集まった多彩な人々との活動の中で、当事者目線を鍛え、且つ自分の専門性を最大限に生かす力を身につけました。

通訳翻訳以外にも自分の専門をもちたいと考え、大学院修了後はビジネスの世界に飛び込みました。自分の専門性、通訳翻訳技術をビジネスの現場でも使えるように鍛える傍ら、全く領域の異なるタスクにも挑戦しています。チームで動くことが当たり前の環境において、新渡戸スクールで鍛えた相手目線で考えること、違いを認め合うことは仕事のパフォーマンスを支える大きな基盤になっています。

フェロー・メンターの声

●フェロー●

未来を切り開く 新渡戸カレッジ生

森 順子
2016年北海道大学大学院教育学院修士課程修了
(株)ハッピーアロー代表取締役
元テレビ北海道アナウンサー



新型コロナウイルスの影響で世界が大きく変化しています。このような未曾有の状況でも、新渡戸カレッジ生は未来を切り開いていける力を持っていると思います。私自身、起業して特に感じるのは、社会で必要なのは勉強だけではなく、主体性や実行力、柔軟性などの社会人基礎力だということ。新渡戸カレッジ生はその能力を多く持っていると感じています。

現在担当している対話プログラムでは、相手の話を受け取りつつ、選択肢が広がるように意識しています。学生さんたちは、多くのフェローとの対話や様々なプログラムを通じ、悩みはありつつも「まずはやってみる」選択をしているように感じます。チャレンジして失敗しても、それを経験にして次のステップにつなげているのです。

また、新渡戸カレッジは学部横断的プログラムであるため、学部を越えた交流も多く、多角的な視点を得ているように思ひます。留学後に、グローバルな視野が広がったと生き生きと話してくれる学生さんもありました。そのような取り組みが、社会人である私たちフェローにも触発を生んでくれています。是非企業の皆さまには、新渡戸カレッジ生とワクワクしながら一緒に仕事をさせていただいたら嬉しいです。

●メンター●

北大からもっとスタートアップを!

中原 拓
2001年北海道大学農学部卒業、2007年北海道
大学理学研究科博士後期課程修了
メタジェンセラピューティクス代表取締役社長
遠友ファーマ取締役
ファストトラックイニシアティブ ベンチャーパートナー



北大では農学部で学部4年間および理学研究科博士課程の3年間お世話になり、その後助教として約一年半勤務させていただきました。北大発バイオテックベンチャーを米国で立ち上げ約6年続けましたので、約15年にわたり北大と直接関係するところで生きてきたことになります。新渡戸カレッジのメンターも5年ほどさせていただいております。

北大で学問を通じて学んだ最大の財産は仮説構築力・検証力だと思っています。不確実性が高い中で質の高い仮説を構築し検証するという学問の基本動作は、不確実性が高まる時代には極めて有効な生きる力となるはずだ。

私は元々純粋な学問を愛しており、「役に立つ研究」など大学でやるべきではないと考えている理学人間です。ただ一方で学問を護るためにも社会へのインパクトを出さざるを得ず、私に与えられた役目はどちら側だと認識しております。

2010年代以降、一流の研究者・学生が起業する時代に入りました。私自身ベンチャーキャピタルや起業家の立場で大学発の知からインパクトを生み出そうと努力しております。北大は大学発ベンチャー数が極端に少なく、学問レベルの高さに比して起業家精神・アンビシャスが低いと考えざるを得ません。学問で身につく仮説構築力・検証力はスタートアップにも必須のスキルです。北大から新しい時代のリーダーがたくさん生まれるよう、私は新渡戸カレッジなどを通して貢献する所存です。

新渡戸カレッジ生の 活躍が待ち遠しい

廣重 勝彦
1982年北海道大学法学部卒業
一般社団法人日本社債調査センター代表理事



スタートアップをテーマとする私のゼミに集まる学生の共通点は、フロンティア精神をカタチにしたいという強い思いです。そもそも北大を選んで入学した学生には、「新しい世界にチャレンジし、自らの力で困難を乗り越えながら新たな価値を生み出して社会に貢献したい」という野心(“Boys, be ambitious!”)があります。

そんな学生がゼミで実際に起業に取り組み、大学での勉学と並行して社会課題の解決を目指しています。もちろん失敗の連続、問題が山積みですが、学生は失敗こそが貴重な学びであり自分の成長につながる重要なプロセスだと理解しているため決して前進を止めません。地方創生、SDGs、高齢化問題、教育格差など国際社会が共有する課題に挑戦し、若者らしい柔軟な発想と地道な努力で解決しようとする学生の姿を見ると、周りの人間も強く心が動かされます。

AIやビッグデータを社会基盤とした未知の時代に向かう若者に、いまフェローが伝えられることは、行動と失敗から学ぶことの重要性、信用・信頼を積み上げることの価値、そして倫理観です。そのような実践的な学びを続ける18歳、19歳の学生がやがて卒業し、社会をより良い方向に導く姿を想像すると今からワクワクしてきます。

明確で具体的な 目標設定が重要

ラワンカル・アビジット
2017年北海道大学工学院博士後期課程修了
北見工業大学



目標を持たない人はコンパスのない船のように漫然と海を漂流しています。「成功すること」や「大企業で働くこと」といった漠然とした目標を設定するのではなく、明確で具体的な目標を設定することが重要です。具体的な目標を設定することで、自分のキャリアにおいて何に取り組まなくてはいけないのか、その理由を明確化できます。膨大な電子メール・ビデオ・電話・メッセージが溢れるデジタル時代において、自身の目標を持つことは、進むべき方向や動機付けを与え、目標の進展を測ることを可能とし、目標の先延ばしを回避することに役立ちます。経験を積みにつれてあなたの目標は変わるかもしれませんが、学生時代の「現時点」で具体的に短期的・長期的目標を持つことは極めて重要です。あなたの目標は情熱、才能、そして関心に基づいて決められるべきです。

一人で考える時間を作ってみましょう。何があなたを幸せにしてくれるか?何があなたを早朝から深夜まで勉強に駆り立てるか?あなた自身はどんな人か?失敗してよければ何をしたいか?正直にこれらの質問に答えてみましょう。そうすることで、あなたの情熱の矛先が見えてきます。学生時代は人生の中で最も大切な時間です。情熱を掘り起こし、具体的な目標を立て、それを行動に移してください。もちろん、そこには競争がつきものです。しかし、競争を過度に恐れたり、自分自身を過小評価しないでください。あなたは自分が思っているよりも優れています。

協定校の教職員からのメッセージ

David W. Valentine

Professor of University of Alaska, Fairbanks



An early American philosopher, Ralph Waldo Emerson, wrote that "the mind, once stretched by a new idea, never returns to its original dimensions". That is what Nitobe College seeks to do, through exposing students to new environments, people, ideas, and approaches. I think that has been especially true for the Hokkaido University students that have participated in the summer Short Term Educational Programs hosted by the University of Alaska Fairbanks. And although very little of what students experienced in Alaska was familiar to them, it was clear they enjoyed themselves as they learned about issues both universal and unique to the far north. As a result of their experience in Nitobe College, students have a greatly expanded view of the world of possibilities open to them.

Ryo SUGIYAMA

Nitobe Memorial Garden Curator,
University of British Columbia

杉山 龍

新渡戸記念庭園 庭園管理・学芸主任・
プリティッシュコロンビア大学・カナダ



"Bridge across the Pacific Ocean"
Nitobe Memorial Garden was
designed to commemorate Inazo

Nitobe in 1960 in Vancouver, Canada. The garden is all about the bridge across the Pacific, which symbolizes the accomplishments of Nitobe, whose goal was to improve awareness and foster relations between Japan and other nations. We have many visitors from all over the world to see the authentic Japanese garden and also to feel Nitobe's philosophy. A tea house was built in the garden to create a space for the communication between Japanese and many other nations through a bowl of tea.

I have been delighted to welcome students from Nitobe College every summer. This experience of being outside of Japan and learning cross culture should be the great step for their future. I look forward to seeing them to become part of the bridge across the Ocean.

「太平洋の架け橋」

新渡戸記念庭園は1960年にカナダ・バンクーバーに新渡戸稲造の功績を記念して造られました。太平洋を模した池には新渡戸の願い「太平洋の架け橋」が兩岸を結んでいます。世界中の観光客や学生が訪れる庭園内の茶室では一杯の茶を介して、人種や文化的背景を超え交流が行われています。

毎夏新渡戸カレッジの学生との交流を私も楽しみにしています。今後、世界を舞台に活躍する彼、彼女達の貴重な経験の場を提供できること、またお互いに架け橋の一部になれることに大きな喜びを感じます。

教員からのメッセージ

繁富 香織

新渡戸カレッジ



新渡戸カレッジ大学院教育コースでは、専門性や価値観の異なる学生が、チームを組み、さまざまな課題の解決案や真の問題を発見するために、英語で議論を繰り返して行います。議論がうまくいかず悩み、失敗したと感じたり、チームでまとめた議論をうまく発表することができたと感じたりするプロセスを繰り返しながら、革新的アイデアを創造する力や批判的思考や分析力を習得し、プロジェクトを行う際のリーダーシップの大切さを学んでいく学生の姿を日々感じています。自らの成長を実感し自信をつけた学生たちが、今後、グローバル社会の中で、物怖じすることなく様々な人とチームを組んで議論を重ねてアウトプットできる人材、さらにはそのチームをリードする人材となることを期待しています。

池 直美

公共政策大学院

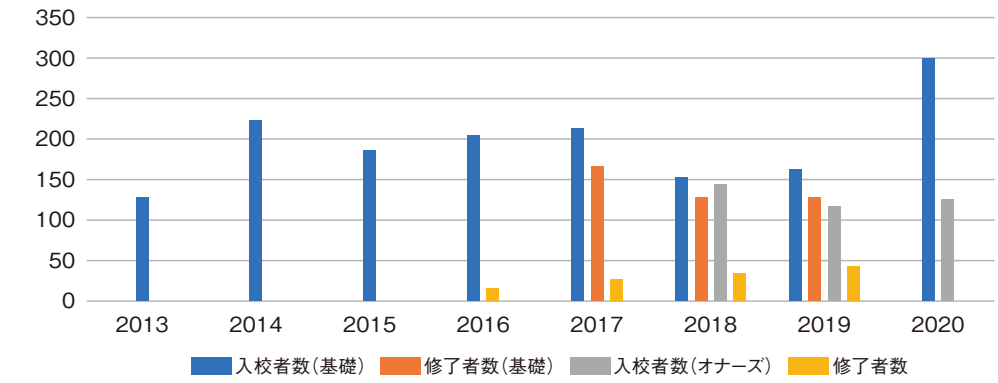


「世界が直面する問題には、理系も文系もなく、力を合わせて解決方法を導き出すことが大事」。2018年に初めて大学院コースを担当してから3年間、毎回初回の授業で私が学生に伝えている言葉です。新渡戸カレッジの大学院コースは、多様な学生層が参加をしていて、日本人学生も世界各国からの留学生も多く受講しており、文化的背景やその学問的バックグラウンドも多種多様です。そういった学生たちが集まる中、世界が直面しているジェンダー平等の問題、移民や多様性の問題などについて、自分たちの学問的専門性を用いて、様々な斬新かつクリエイティブな対策や解決方法の糸口が次々と提案される授業は、教える教員にとってもとても刺激的であり、毎回新しい発見があります。教員側の少しのインプットをしっかりと捉え、自らの専門性と思考力で、お互いに切磋琢磨している学生たちには、まさに北海道大学が誇る「実学の実践」が根付いていることを実感します。

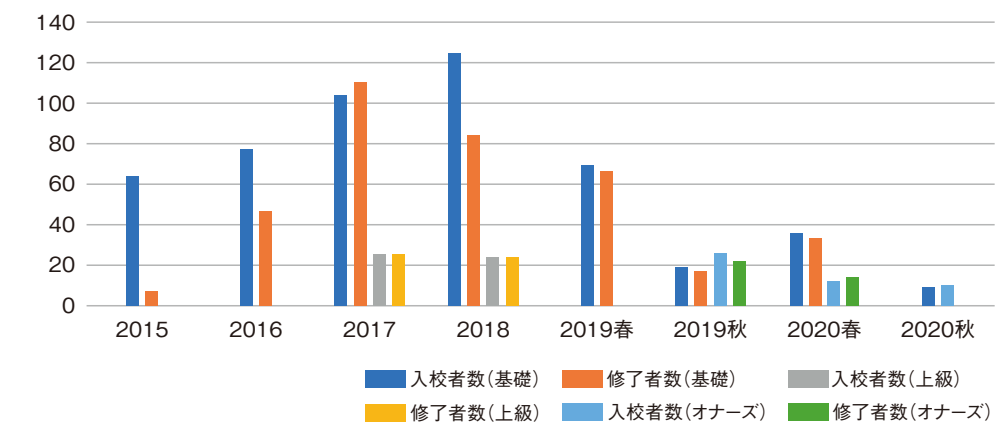
データでみる新渡戸カレッジ

●各年度の入校者数、修了者数●

新渡戸カレッジ(学部教育コース) 入校者数と修了者数



新渡戸スクール・新渡戸カレッジ(大学院教育コース) 入校者数と修了者数



●修了生の主な進路●

主な進路先一覧

【一般企業】

日本IBM、パナソニック、清水建設、竹中工務店、日立造船、三菱電機、本田技研工業、DIC、ベネッセコーポレーション、中外製薬、時事通信社、朝日新聞社、アクセンチュア、NTT、デンソー、ニトリ、IHI、KDDI、イオン、小松製作所、ジョンソン・エンド・ジョンソン、ソニー、北海道新聞社、みずほファイナンシャルグループ、三菱商事、参天製薬、資生堂、双日、電通、富士通、日産自動車、日本たばこ産業 他

【官公庁】

経済産業省、厚生労働省、環境省、法務省、警察庁、気象庁、北海道

国際インターンシップ協力企業

NTTファシリティーズ、大塚製薬、上海味の素アミノ酸有限公司、三菱製鋼、ニトリホールディングス、日建設計(上海)諮詢有限公司、双日、佐藤工業、セコム、TSURUHA(THAILAND) CO.,LTD、日本航空、三井金属アクト、みずほ銀行、ハノイ三国歯科、シンフォニアテクノロジー、JTB-TNT Co.,Ltd、セコム、サッポロホールディングス、マルハニチロ、NTT Communications (Thailand) Co. Ltd.、野村総合

庁、北海道立総合研究機構、東京都庁、札幌市役所、名古屋市役所

【大学】

北海道大学(農学研究院、保健科学研究所、病院)、Jahangirnagar University(バングラデシュ)

【進学】

北海道大学大学院、東京大学大学院、京都大学大学院、Texas A&M University大学院(米国)、Wageningen University大学院(オランダ)、Swedish University for Agriculture Sciences大学院(スウェーデン) 他

研究所、Murata Electronics.Oy(村田製作所)、中外製薬、アズビル、トクヤマ、大林組、日本軽金属、日本学生支援機構(JASSO)、三井化学、日野自動車、JFEスチール、JALUX、PT JGC INDONESIA、古河電気工業、SG SAGAWA VIETNAM CO.,LTD.、他